

COP10 in 三重 アジア・太平洋ユース生物多様性宣言

このCOP10 in 三重に参加した私たち、アジア・太平洋地域のユースは、今回の伊勢湾岸上陸し、アジア・太平洋、さらに世界の生物多様性の保全及び生物資源の持続可能な利用のためにこの私たちが、これまで山、川、大地、海、自然とそこに生存するさまざまな生物からたくさんの恩恵を、人間の手による外半種の移入、気候変動に伴う温暖化、自然の破壊等によって、それら生物を滅した地球全土の命が互いに関係しあっている、ということを知り、これを再認識する。私たちは人間は生態系の一部であり全ての命が互いに関係しあっている、ということを知り、これを再認識する。私たちは地球全土の命が互いに関係しあっている、ということを知り、これを再認識する。従って私たちは、地球上の全ての命が調和する持続可能な世界を創るために、次のように宣言します。

- 1 私たちは生物多様性を守り、これを豊かにするために知識を身につけ、行動します。現状の問題を把握しその解決に向けて、生物多様性の正しい知識を身につけていきます。自然と多く触れ合い、環境を知り、自然の大切さを実感し、責任ある行動をします。
- 2 私たちは今ある生態系がこれ以上破壊されないように努めます。今回の経験から得た知識を地域の人々と共有し、地域の生物多様性の保全活動を展開します。生物多様性に配慮した商品を購入していくとともに、日常生活で水、エネルギー、資源の消費を減らし、環境に優しい行動をします。
- 3 私たちはグローバルな視点を持ち、アジア・太平洋ユースネットワークを構築し、意見交換を継続的に行い、さらに世界の生物多様性の保全に向けて、遺伝資源の利用から生じる利益の公平な配分を要請していきます。アジア・太平洋ユースネットワークを構築し、意見交換を継続的に行い、さらに世界の生物多様性の保全に向けて、遺伝資源の利用から生じる利益の公平な配分を要請していきます。
- 4 未来世代へのビジョンを持ち、知識を授け、次世代へ渡された生物多様性を残すように努めます。生物多様性に関する意識を向上させていく為に持続発展教育(ESD)の強化を要請します。将来、私たちは各国のリーダーとして、連続的な生物多様性の大切さを自覚し、未来の世代に継承し、生物多様性の保全に努めます。

私たちは遺伝資源から生じる各国の利益を平等にし、平和で豊かな世界を目指します。そして、多様な種があふれる地球を2050年までに実現します。命あふれる地球を未来の世代に引き継ぐことが、今我々の使命です。そこで2050年に向けて、今後私たちが環境人材として、情報を発信し、協力し、活動を展開することによって、生物多様性の減少をくい止め、持続可能な世界を創ることに努めます。我々ユースは、地球の未来のために、共に努力を続けることを誓います。

COP10 in Mie Asia and the Pacific Ocean youth biodiversity statement

We are the youth of Asia and Pacific region. This time, we participated in COP10 IN MIE and we went to the Ise Bay and aoyama in Kaneyama. Using this experience, we made statement for the sustainable use of the biological resources in Asia, Pacific and even the world. We have been received a lot of blessing from mountains, rivers, ground sea and nature but, today, biodiversity are being lost by some immigrants by human, global warming associated with climate change and destruction of nature. It is necessary for us to know again that we are a part of the ecosystem and all lives are related each other. Now we should make the specific plan to create the world where all lives in the earth can live together over the countries and act. Therefore, we declare as follows to create the sustainable world where all lives on the earth harmonize.

1. We put the right knowledge to the right action for biodiversity conservation.
 - We grasp a problem of the current state and put on right knowledge of biodiversity for the solution.
 - We try to have contact with nature a lot, to realize the importance of nature, and to act responsibly.
2. We try ecosystem not to be destroyed any further.
 - We share experience with the people around us when we come back, and we start to preserve regional biodiversity.
 - We try to buy the biodiversity-conscious products, and save the water, energy and waste of natural resource in daily life.
3. We will have a global view point, and make the strong Asia Pacific Youth network and then, we must cooperate with them toward a resolution of the issues.
 - We should have a lively exchange of views (in Asia Pacific Youth network) to promote biodiversity all over that world.
 - We make request each country to access to genetic resources and Benefit Sharing.
4. We will have the vision to future generation and think over, and what's more, we try to keep blessed biodiversity to the next generation.
 - We require strengthened Education for Sustainable Development (ESD) to improve the consciousness about biodiversity.
 - In the future, we will recognize the importance of continuous biodiversity and maintain this for future generation as a leader in each country.

We aim peace and rich world that profit in each country from genetic resource is fare. We will achieve the world where various species are and human coexist nature by 2050. Our mission is taking over the Earth that having abundant life to generation in the future. We hang 2050 vision and we send information, cooperate and act with having an environmental leadership to stop decrease in biodiversity. The whole human family coexists with nature and spends time in happy life. To accomplish this mission, we declare here to make effort.

October 16, 2010

Asia and the Pacific Ocean youth



2010/10/18 11:56

「COP10 in 三重」 アジア・太平洋ユース生物多様性環境宣言文採択 2010.10.18

「世界一環境先進大学三重大学」のCO2削減 ～ カーボンフリー大学 ～

削減目標

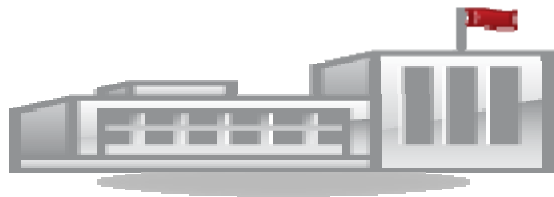
世界一の「環境先進大学」を目指して積極的にリーダーシップを発揮していくことが三重大学の社会的責任(USR)である。

削減目標は高い数値目標とし、全学で取り組む姿勢が必要。



政府

- ・2020年までに1990年比
- ・CO₂を25%削減



三重大学

- ・2020年までに1990年比
- ・CO₂を30%削減



CO2削減量;2020年までに1990年比30.7%削減

設備改善 19.3%	病院再開発 10.3%	件名	削減寄与率
		エネルギーセンター	8.8%
		病棟・診療棟(Ⅰ期)	1.0%
		外来・診療棟(Ⅱ期)	0.5%
	機器の更新 9.0%	件名	削減寄与率
		平成21年度改修工事	0.4%
		井水導入に伴う省エネ機器更新	0.3%
		省エネルギー対策経費による機器更新	1.0%
ボイラーの廃止(生物資源学部校舎)		0.9%	
	空調設備・照明設備を全て更新した場合	6.4%	
学内運用改善 14.0%	省エネ活動を実施		削減寄与率 14.0%
学外運用改善 3.2%	家庭での運用改善によるCO ₂ オフセット		削減寄与率 3.2%
基準年1990年(H2)以降の努力による削減(1990年から2008年まで) -5.8%			

携帯ポイントシステム(MIEU Point)

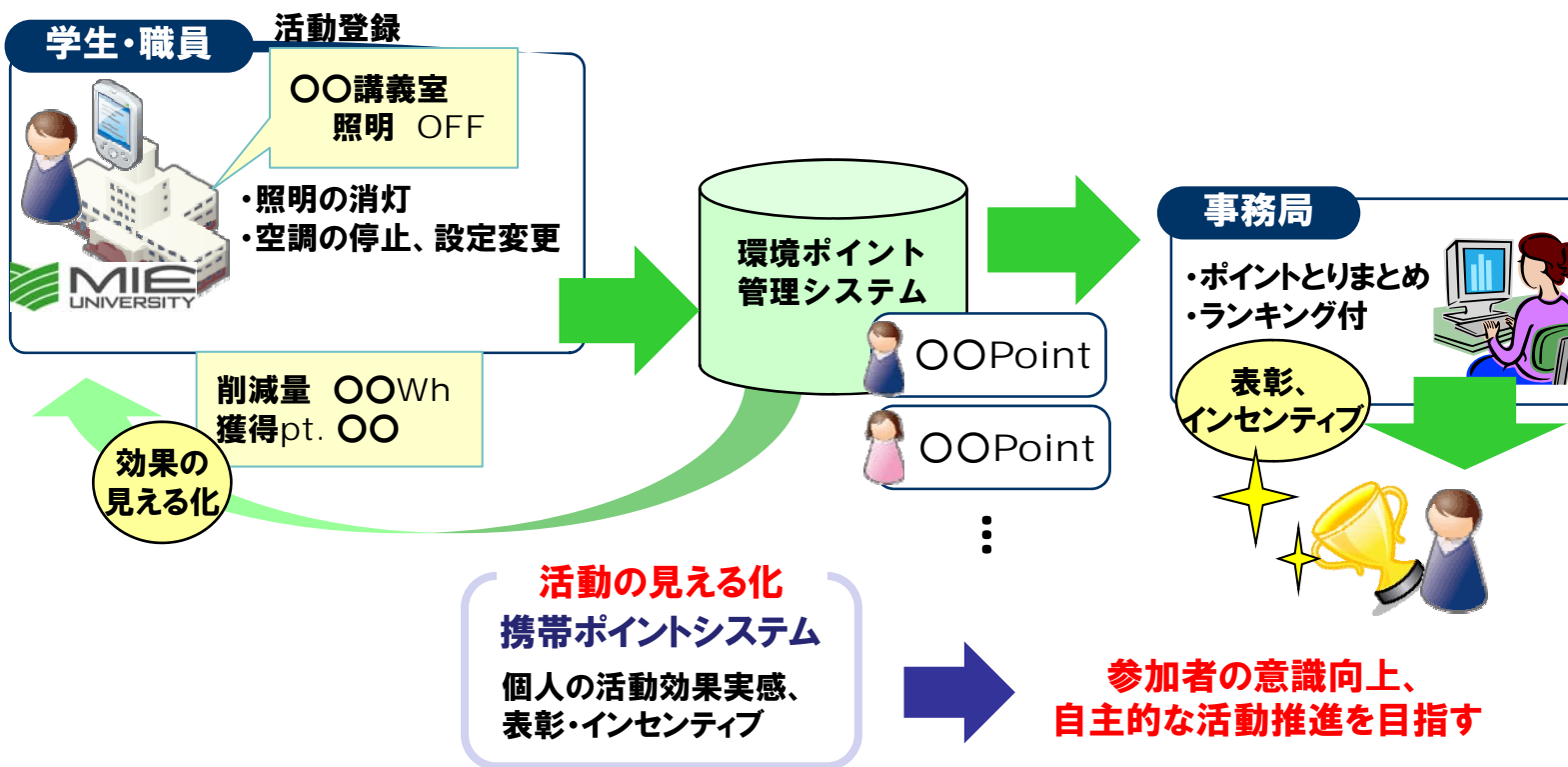
目的

個人の行動履歴を管理することで、曖昧になりがちな「個人の努力」を「見える化」し、かつその行動に対してインセンティブを与えることで、活動への興味と積極性を促すことを目的とする

運用概要

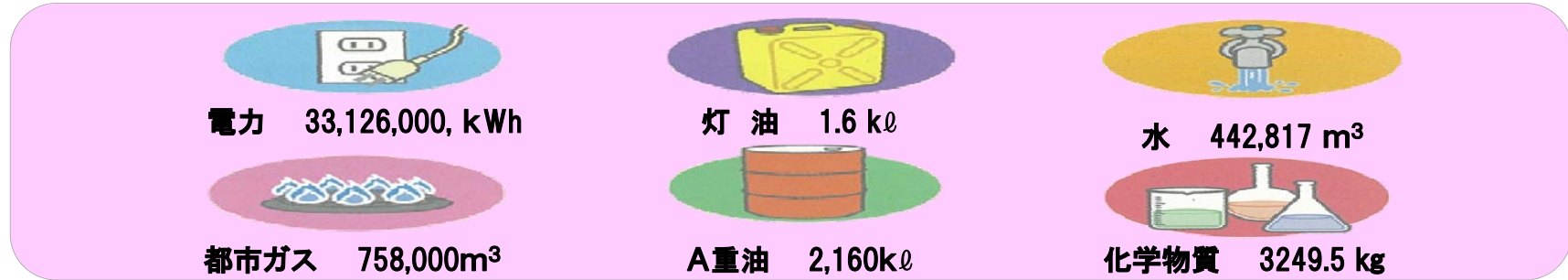
学内で実施した環境・省エネ活動を、携帯電話より登録。活動内容に応じて環境ポイントを付与。活動のインセンティブとして、ポイントをランキング付けした上で表彰等を行う。

活動
イメージ



マテリアルバランス

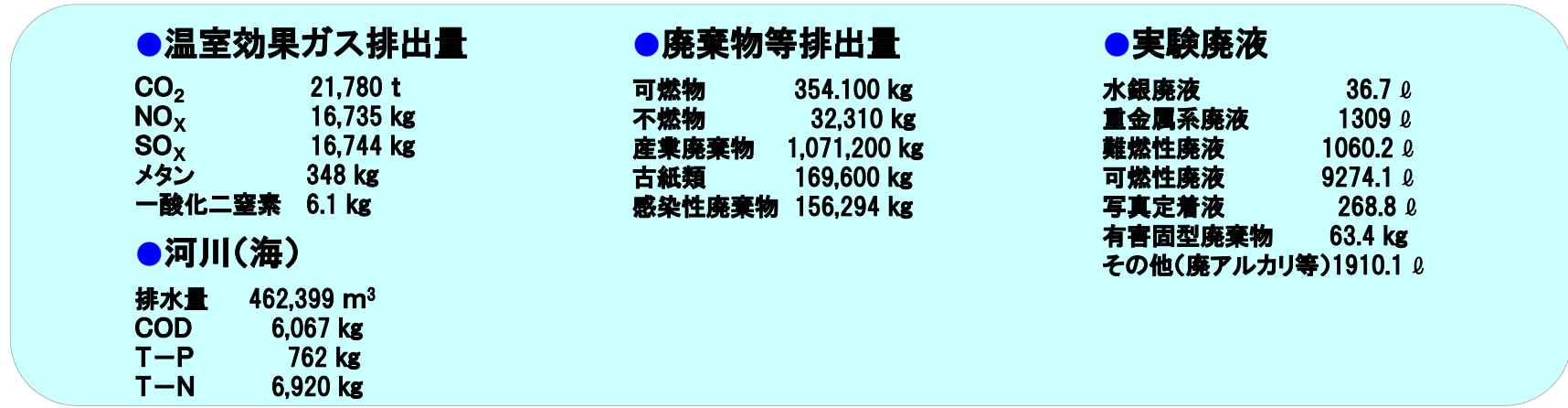
事業活動(教育・研究・診療)に伴って発生する環境負荷を正しく把握し、その削減活動を進めるために、どのくらいの資源・エネルギーを使用し、どのような環境負荷が発生しているのかについて、データを集計・分析し、環境負荷の軽減に努めている。



INPUT



OUTPUT



世界一環境先進大学三重大学の 環境報告書の基本軸



COP10 in 三重；生物多様性保全